

ハイイロアミメヒメハマキ

6月頃にカラマツなど針葉樹の葉を食べるイモムシ（幼虫）。最大長約14mm。頭は暗い茶色から黒。体は灰緑色、やや茶色味がある。背中に暗い斑点がある。頭のすぐ後の背面は黒い。

本州ではカラマツ林でまれに多発する。北海道にも生息するが多発記録はない。

【学名】 *Zeiraphera griseana*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) , ハマキガ科 (Tortricidae)

【分布】 北海道, 本州; サハリン, ウスリー, アムール, ヨーロッパ, 北米。

【特徴】

カラマツヒメハマキの幼虫と多少似ているが、体が緑色を帯びる点で区別できる。

【生態】

宿主：モミ属, トウヒ属, カラマツ属, マツ属。

年1世代。卵越冬らしい。幼虫は6月頃に枝上に糸を張って葉を食べる。落葉中で蛹になる。成虫は6月下旬～8月に出現する。

【文献】

1984. 鈴木重孝, 駒井古実. 北海道における針葉樹を摂食する小蛾類. 北海道林業試験場報告, 22: 85-129. (分類, 形態, 生態)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ハイイロアミメヒメハマキ hamaki/haiiro/
kaisetu.htm

「文章」原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/12/23.